

朝の散歩に、キンモクセイの甘い香りが路地いっばいに広がっていました。急に涼しくなりましたが如何お過ごしでしょうか。台風の降雨によって、渇水が続いた広瀬川にも水が戻ってきました。今年は、高温少雨の影響から海に注ぐ河川水が少なく海水温が上昇し、松島湾のカキが7～8割も死滅したと10/03の河北記事に記載されました。山と海をつなぐ川に水がないことが海に影響することは、以前、畠山重篤氏が本会の講演会で話していたことです。山も川も健康でなければ海も豊かになれない。だから、川的环境は都市部の住人が大切にしたいと。



(10/03 台風明けの広瀬橋下流)

私も、川は地球の血管だと思います。川も体と同じ様に適度に水が流れていなければ川的环境が守られません。健全な川があって上水も農工業用水も、その恩恵によって潤いのある都市が維持されるのです。しかし、広瀬川は延長36キロほどの勾配がある小河川であるため、普段は流水が少なく雨が降ると一気に水かさを増すのが特徴です。また取水が多く環境維持が難しいのも課題です。降雨時の下水流入やゴミ流下の問題もあります。仙台市を貫流し、上下水、農業用水のほぼ全量を頼る広瀬川。この河川を名実ともに良くするためには、仙台市が県に代わって責任主体となることが時代の求めだと思います。市民参加で様々な河川問題を解決し、知力を尽くして河川行政を効果的に推進することが必要です。

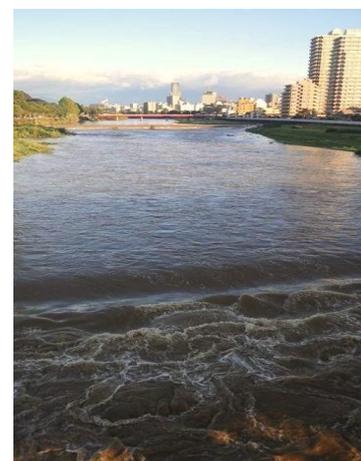


<予定> (10月～12月)

- 10/13 (土) 10:00 ～ 広瀬橋地区清掃 芋煮会
- 10/16 (火) 13:30 ～ 東沖野小5年生出前講演
- 11/10 (土) 10:00 ～ 広瀬橋地区清掃
- 12/08 (土) 10:00 ～ 広瀬橋地区清掃

<報告>

- 9/08 広瀬橋地区清掃
- 9/19 ワイズメンズ広瀬川クラブへ講演
- 9/25 五十集屋 懇親会 9名参加



(10/03 広瀬橋上流)

10/03 大年寺山 のアンテナ



ちょっと寄り道 ～広瀬川を一望できる大年寺山から～

台風17号が去って、未だ雲行きが悪い空に突き刺さるようにそびえる3本のアンテナ。場所は、太白区大年寺山公園から野草園前の茂ヶ崎。左の写真手前が補修直後の宮城テレビのアンテナ。夜間の鉄塔照明の天候表示が再開されました。白が翌日晴れ、黄色が曇り、緑が雨。先端の赤いところがデジタル化された重要な部分です。中間がNHKの共同アンテナ。一番奥が今年6月から緑、青、黄色のグラデーションで美しいな仙台放送のアンテナです。震災復興に願いを込めた仙台放送のアンテナの愛称は「仙台スカイキャンドル」と命名されました。皆様も願いを胸にぜひご覧ください。

ライトアップされた3本のアンテナは仙台市都市景観大賞を受賞

会 員 募 集

清掃参加等により地域貢献証明書発行します (年会費：法人1万円・個人5千円)

NPO法人広瀬川の清流を守る会

☎022-247-6522 ✉info@hirosegawa.com URL www.hirosegawa.com

〒982-0011 仙台市太白区長町1丁目2-16-201 (昭和宅建内)